

編集後記

時代を読み解くキーワード「動詞」シリーズインタビューの第4弾のテーマは「生きる」。

永遠のベストセラー『般若心経』を、今を生きる人々の実感から読み解かれた作家・新井満先生に、この難しいテーマについてお聞きしました。大地震や大病など、生きることを自ら深く見つめなければならない大変なご経験をされておられるからこそ、空即是色の面に光を当てた先生の自由訳は、読む者の心に暖かく染み込むのだと思いました。

「対談」の伊藤滋先生は、欧州の歴史ある街並みの美しさを一言で要約すると、「屋根の文化」にあるとされます。住む人がお互いに約束事をし、決められたことはきちんと守る。まさに、福島県下郷町大内宿には、息をのむほど美しい茅葺き屋根の街並みが現存していました。まるで黒澤明監督の時代劇映画のセットかと思うほどの完璧な美しさ。一旦失われかけた街並みを取り戻すためにどれほどの時間と労苦を費やされたことが、観光地として有名になる中、商業主義に流されぬよう踏ん張り続ける保存会の皆さん。未来の人たちも、この美しい大内宿を観て現代に生きるわれわれと等しく感動できるよう、願って止みません。(AU)

日本銀行の仕事内容は「アジアの中の中央銀行」としての要素もある。今回のやさしい金融経済教室はそう締め括っています。日本は今、先進国としてアジア諸国へ協力・援助を行っています。これから先の未来、アジアの中の日本はどんな姿になっていくのでしょうか。願わくは今の努力が実った未来でありますように。(IA)

本誌は、全国の日本銀行本支店および貨幣博物館、旧小樽支店金融資料館等でお配りしています。個人の方の定期購読、郵送はお取扱いしておりませんのでご了承ください。なお、既刊号全文をPDFファイル形式で日本銀行ホームページ上に掲載していますのでご利用下さい。

(<http://www.boj.or.jp/type/pub/nichigin.htm>)

本誌に掲載している内容は、必ずしも日本銀行の見解を反映しているものではありません。日本銀行の政策・業務運営に関する公式見解については、日本銀行ホームページ(<http://www.boj.or.jp/>)をご覧ください。

にちぎん 2006年 冬号
編集・発行人 湯本崇雄
発行 日本銀行情報サービス局
〒103-8660
東京都中央区日本橋本石町2-1-1
☎03-3277-2405

デザイン 株式会社市川事務所
印刷 図書印刷株式会社
© 日本銀行情報サービス局 禁無断転載

トークと文楽鑑賞の集いを開催

十月二十日、

日本銀行旧館にて「明日につなぐ」日本の伝統・日本のこころ」文化と経済のまち 日本橋から」が開催されました



(名橋「日本橋」保存会と日本銀行による共催)。第一部のトークでは白石真澄東洋大教授をコーディネーターとして、パネリストの方々から現代における「伝統」の意義等について興味深いお話を頂きました。また、第二部の文楽では、人間国宝・吉田文雀氏ほかの方々により「曽根崎心中 天神森の段」が上演されました。来場客の皆さんは幽玄な人形さばきに見入っていました。

金融教育フェスティバルを開催

十二月二日、東京ビッグサイトにて金融広報中央委員会主催による「金融教育フェスティバル2006」が開催されました。

昨年に続いて二回目の開催となる今年は、メインイベントとして「知りたい! 受けた! おかねの授業」と題し、いとうせいこうさんの進行のもと、先生役の池上彰さんらによる小中学生に向けたフリースタディオン形式の公開授業が行われ、会場も一体となつて大いに盛り上がりました。

また、おかねについて学べる仮想の街「知るぼろとタウン」では、参加した子どもから大人まで、講談やマジック、クイズ、スタンブラリーなど様々なプログラムでおかねや金融全般について、楽しく学ぶ一日となりました。

企画展「お金と福の神 お札に描かれた大黒様」を開催中



最初の日本銀行券「大黒札」
(兌換銀券10円券)

一八八五年に発行された最初の日本銀行券には七福神の一つである大黒様が描かれていたため、「大黒札」と呼ばれました。本企画展では「お金と福の神」に関連するさまざまな資料をご紹介します。

開催期間 二〇〇七年三月四日(日)まで

休館日は、月曜日、年末年始(十二月三十一日、一月四日)

場所 貨幣博物館

東京都中央区日本橋本石町一三一
お問合わせ先 〇三三三七七 三〇三七

本店見学のご案内

明治二十九年に建てられた日本銀行本館、一〇〇年以上使用された旧館地下金庫を始め、重要文化財に指定されている旧館建物内部をご覧頂きながら、日本銀行の歴史や業務内容をご説明致します。

見学予約申込先

日本銀行情報サービス局公聴担当

〇三三三七七 二八二五

見学日 平日のみ(十二月二十九日、一月四日を除く、入場無料)

